

平成27年度 情報教育委員会情報教育研修会

- 1 日時 平成27年8月4日(火) 9:20~15:40 (受付9:00~)
- 2 会場 宇和島市立明倫小学校
- 3 参加者数 72名
- 4 内容



9:00~9:20	受付
9:20~9:25	開会行事
9:25~10:20	研修1 実践事例発表 「ICTを積極的に活用した体育学習の研究と実践」 松前町立北伊予小学校 向井 一貴 「タブレットPC等の活用について」 宇和島市立明倫小学校 中山 総大 「思考し、表現し、協働的に学び合う、タブレットPCの活用」 松山市立北久米小学校 小田 浩範
10:30~11:40	研修2 「タブレットPCを使った模擬授業」 講師 (株)富士通インストラクター
11:50~12:20	研修3 「業者から学ぶプレゼン」
12:20~13:30	昼食 情報機器の展示
13:30~15:30	研修4 ワークショップ「タブレットPCを使った協働的な学び」 講師 松山市立八坂小学校 石田 年保
15:30~15:40	閉会行事

研修1では、各地区と事務局からの実践事例が発表された。
 北伊予小学校向井先生の実践では、ボール運動でのICTの活用は、児童が互いのよさを認め合い、チームワークを学びながら豊かに教材や仲間と関わり、ボール運動の楽しさや喜びを感じる上で効果的であったことが分かった。
 明倫小学校中山先生の実践では、タブレット端末を使えば、必ずしもよい授業ができるというものではなく、教師と児童の両方が機器の操作に慣れ、使う場面をうまく見極めることができれば、楽しく分かりやすい授業に向けて、大きな効果を発揮することが分かった。
 北久米小学校小田先生の実践は、タブレット端末を効果的に活用することで、児童の学習意欲を高めたり、学習内容の理解を深めたりするなど、個に応じた学習を推進していた。



タブレット端末や大型テレビを仲立ちとして、児童が意見を交換したり新しい事柄を作り上げたりする活動を通して、言語活動が充実し協働的な学習が深まることが分かった。

研修4では、八坂小学校石田先生の軽快かつユーモラスなワークショップが行われた。一つ目のワークショップでは、参加者がグループに分かれてタブレット端末を活用し、「協働」を一枚の写真で表現するように指示があった。その活動を通じて、タブレット端末の利便性（持ち運びが容易、動画・静止画の撮影と加工が容易、作業のやり直しが簡単、話合いの活性化など）を実感することができた。

二つ目のワークショップでは、タブレット端末を活用して三角形の合同条件を5枚のスライドを作成して説明することを行った。グループ間での発表や全体発表を通じて、視覚的に理解できること、知識の共有が図られること、言語活動につながることで、スキルがなければ授業時間に収まらないなどのタブレット端末の長所や短所を考えることができた。



5 研修会を終えて

研修会は南予地区宇和島市開催にも関わらず、東・中予地区からの参加者が多数あり、ICT機器、特にタブレット端末への関心の高さをうかがうことができた。また、研修会での意欲的な活動が見られ、現場でのICT機器の必要性を感じる事ができた。

研修全体を通して、タブレット端末を授業で用いることにとられすぎるのではなく、「めあて」を達成するために効果的な場面で適切に利用することが重要だと感じた。「タブレット端末を使うための授業をする」のではなく、「より良い指導のため、必要な時にタブレット端末を使う」ことを、常に心に留めておかないといけないと感じた。

今回の研修会を通じて、愛教研情報教育研究主題「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践」の推進につながればと考える。

